余剰金の返還がない場合

(入門・発展・協働)コース

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認 □

	項目	予算額(円)	決算	算額(円)	増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
	補助金	110	,000	110,000	0	平塚市市民活動推進補助金
	参加費	20	,000	16,000	-4,000	500円×32人 フォーラム参加者の参加費 予定より参加者(予定40人)が少なかったため、減額となった。
収	寄付金	15	,000	12,933	-2,067	活動の賛同者からの寄付
	事業収益	10	,000	11,200	1,200	商店街フェスティバルのバザーの売上
入	団体会員の会費	5	,000	5,657	657	団体会員年会費の一部を事業費に充当
	収入合計	A 160	,000 B	155,790 B	- A -4,210	発展コース:補助対象経費 141,000 円 × 90 % = 126,900 円 補助限度額 120,000 円
П	項目	予算額(円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費(円) (うち補助金額)	増減額 (円)	具体的な内容(積算根拠等)
	消耗品費	44,000 (21,000)	34,040	34,000 (21,000)	-9,960	チラシ用色紙6,580円×2箱=13,160円、ゴミ袋348円×60パック=20,880円軍手を購入予定だったが、参加者に持参していただき購入しなかった。
	物品購入費	68,000 (60,000)	73,560	73,000 (60,000)	5,560	ゴミ分別用コンテナ 11,250円×5個=56,250円 4個予定を5個に変更。 ゴミ処理場まで運ぶための台車 17,280円×1台=17,280円
2	講師謝金	30,000 (25,000)	30,000	30,000 (25,000)	0	フォーラムの講演会の講師への謝金 30,000円×1回=30,000円
支	印刷費	14,000 (4,000)	4,110	4,000 (4,000)	-9,890	チラシ印刷代(フォ-ラム用1,000枚、イヘ・ン・ル用1,000枚)1,450円×2版=2,900円 会議等資料のコピー代 10円×121枚=1,210円
	食糧費	4,000	13,280	0 0)	9,280	フォーラムの交流会での茶菓子代 13,280円 参加者の参加費から支出
	駐車場代	(0)	800	0 0)	800	200円×4時間=800円 処理場にイベントで集めたゴミを運ぶための軽トラックの駐車場代が必要となったため、会の会費から充当
		()		()		予算額と決算額に差額が発生した場合又は、
	支出合計	C 160,000 (110,000)	D 155,790	141,000 (110,000)	D-C -4,210	予算計上した項目以外の収入・支出があった場合は、 その理由を記入してください。
	③収支決算額	【備考】				

余剰金の返還が<mark>ある</mark>場合

(入門・発展・協働)コース

事務局記入欄

発展コース補助割合確認 □

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

	項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
	補助金	110,000	110,000	0	平塚市市民活動推進補助金
1	参加費	20,000	20,000	0	500円×40人 フォーラム参加者の参加費
収					
入					
	収入合計	A 130,000	130,000	B – A 0	発展コース:補助対象経費 110,000 円 × 90 % = 99,000 円 補助限度額 90,000 円
	項目	予算額(円) (うち補助金額) 決領	算額(円) 補助対象経費(円) (うち補助金額)	増減額 (円)	具体的な内容(積算根拠等)
② 支 .	消耗品費	40,000 (40,000)	40,000 (40,000	0	チラシ用紙6,000円×4箱=24,000円、ゴミ袋200円×80パック=16,000円
	物品購入費	60,000 (60,000)	40,000 (40,000	-20,000	ゴミ分別用コンテナ 10.000円×2個=20,000円 4個予定を2個に変更。 ゴミ処理場まで運ぶための台車 20,000円×1台=20,000円
	講師謝金	30,000 (10,000)	30,000 (30,000 10,000	0	フォーラムの講演会の講師への謝金 30,000円×1回=30,000円
		()	()	
		()	()	
		()	()	
		()	()	余剰金がある場合(収支決算額が黒字の場合)は、
	支出合計	C 130,000 D (110,000)	110,000 (110,000 90,000	D-C -20,000	余剰金を返還していただきます。
	③収支決算額	B 130,000円 —	<u>D 110,000 円</u> =	20,000 円	(備考) 余剰金20,000円は返還します。